

【まちづくりの目標】誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

【政策】住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課
														評価	評価コメント（課題・今後の方向性等）	
(1201) 安心できる社会保障制度の運営	12	生活保護受給者就労支援事業に参加し、就労開始となった人数	生活保護受給者就労支援事業に参加し、就労開始となった当該年度の人数。	目標値	人	-	-	-	76	82	88	95	100	③ やや遅延	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による景気悪化により雇用情勢が厳しくなり、被保護者を就労に結びつけることが困難であったが、令和3年度以降は就労支援事業委託先やハローワーク、生活福祉課の就労支援員等の連携により、就労を開始する者が徐々に増えている。 しかし、稼働年齢層の生活保護受給者は減少傾向にあり、事業に参加しても就労に結びつく人数はなかなか増加していない。 引き続き関係機関とも連携しながら、被保護者の自立に向けた支援に取り組んでいく。	生活福祉課
				実績値	人	-	70	49	54	56	66					
				達成率	%	-	-	-	71.1%	68.3%	75.0%					
	13	鳥取市国民健康保険におけるジェネリック医薬品の普及率	厚生労働省が発表する、鳥取市国民健康保険における薬剤に占める当該年度のジェネリック医薬品の数量ベースによる普及割合。	目標値	%	-	-	-	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	② 概ね順調	令和2年以降、一部のジェネリック医薬品に供給不足が生じており、実績値が伸びにくい状況があるものの、国が公表する本市の普及割合は速報値82.8%（令和5年9月現在）で概ね順調に推移している。 今後も、医療費の適正化や被保険者の医療費の負担軽減につなげるため、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知や啓発事業を通して、利用勧奨に努め、ジェネリック医薬品の普及を促進していく。	保険年金課
				実績値	%	-	79.6	80.9	80.6	81.2	82.8					
				達成率	%	-	-	-	99.5%	99.0%	99.8%					
	14	介護給付適正化事業におけるケアプラン点検実施件数	ケアプラン点検を行った当該年度のプラン件数。	目標値	件	-	-	-	490	490	560	560	580	① 順調	介護給付の受給者が、真に必要とする過不足ないサービスを事業者が適切に提供できるようにするため、なるべく多くのケアプラン点検を実施していく。また、ケアプラン点検の結果について、居宅介護事業所・包括支援センター等に対して研修を実施するなどして、ケアプランの質の向上に向けた支援、取り組みを行いたい。	長寿社会課
				実績値	件	-	528	190	348	805	607					
				達成率	%	-	-	-	71.0%	164.3%	108.4%					